

グリーン四国

No.1238
2023年
5月号

「令和5年度四国森林管理局の 重点取組事項」を公表 【詳細は2頁】



白髪・奥工石(ヤマハゼ)

目次

・「令和5年度四国森林管理局の重点取組事項」を公表	2
・着任あいさつ	5
・春の「緑の募金」街頭募金活動	6
・「社会貢献の森」における協定を締結	6
・「滑床溪谷」山開き神事に併せて森林環境教育を実施	7
・新規採用者の紹介	8



四国山の日

四国森林管理局

高知市丸ノ内1丁目3-30
TEL 088-821-2052
FAX 088-821-4834
HP <http://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/>
E-mail shikoku_soumu@maff.go.jp

「令和5年度四国森林管理局の重点取組事項」を公表

〈局企画調整課〉

4月21日、「令和5年度四国森林管理局の重点取組事項」を公表しました。

公表にあたっての記者発表では、遠藤順也四国森林管理局長から、「四国森林管理局は、四国4県の約19万haの国有林を管理しており、この国有林において公益的機能の発揮や豊かな森林資源の循環利用を図るとともに、効率的な作業システムの確立や、森林・林業の担い手の育成などにも取り組んでいるところです。」と挨拶し、具体的な取組内容を説明しました。

質疑応答では、ドローンの3次元活用や針広混交林化、花粉症対策、牧野富太郎博士に関するパンフレット等の情報発信について質問があり、当局の取組について詳しく説明しました。



遠藤局長挨拶・資料説明の様子

「令和5年度四国森林管理局の重点取組事項」の概要については、次のとおりです。

四国森林管理局は、我が国の森林・林業の再生に向け、その組織・人材・資源を最大限に活用し、後述する「新しい林業」に向けた取組の推進や、民有林への技術普及等による、森林・

林業政策全体の推進を通じた地域経済の活性化への貢献、適切な森林整備による森林の公益的機能の発揮、国民の森林としての国有林の管理経営にも努めてまいります。

【取組事項1】

「新しい林業」に向けた取組

伐採から再造林・保育に至る収支のプラス転換を可能とする「新しい林業」の実現に向けて、再造林の省力化・低コスト化に資するため、①伐採と造林の一貫作業システムの推進、②下刈り回数の削減や大苗の導入、③林業のデジタル化による生産性向上、④ドローン等、リモートセンシング技術による収穫調査等の効率化⑤林業の安全性の向上などに取り組み、有効的な手法について民有林への普及にも努めてまいります。



地上3Dレーザ



スギの大苗（コンテナ苗）

**【取組事項2】
森林・林業を担う人材の
育成について**

将来の森林・林業を担う人材の育成のため、四国森林管理局の職員に加え、林業事業者の育成や、森林経営管理制度への対応等役割が大きくなっている市町村林業担当者を対象とした、現地検討会を開催し、技術の普及に取り組みます。今年度は、各署等で12回の現地検討会の開催を予定しています。また、四国森林管理局職員の研修を活用した「市町村林業担当者実務研修」を引き続き実施します。

このほか、高知県立林業大学校、とくしま林業アカデミーや南予林業アカデミーに対し、国有林のフィールドを研修の場として提供し、国有林職員を講師として派遣、作業実習への協力等により支援を行います。さらに、香川県立農業大学の林業人材の育成コース（令和6年度に開講予定）に対しても、講師の派遣、フィールドの提供等の協力を予定しています。



現地検討会の様子



市町村林業担当者実務研修

**【取組事項3】
森林土木工事における
ICT活用の推進**

森林土木工事においては、発注者・受注者双方の負担軽減が重要であることから、受発注者間の情報共有システム、ICT施工などの活用に取り組みます。



ICT施工の様子

**【取組事項4】
多様な森林づくりの推進**

国土の保全、水源の涵養、地球温暖化防止、林産物の供給など、森林の有する多面的機能が十分に発揮さ

れるよう、複層林や針広混交林への誘導など多様で健全な森林への誘導に取り組みます。



面的複層林（嶺北署：南国市）



針広混交林（四万十署：四万十町）

【取組事項5】 情報発信の強化

日本三奇橋の一つとして知られている、「祖谷（いや）のかずら橋」は、多数の外国人観光客が訪問することから、「祖谷のかずら橋」の維持・保存に不可欠な架替資材の「シラクチカズラ」の安定供給に向けた国有林の取組を紹介する英語版パンフレットを作成し、公表しました。



※「シラクチカズラ」の安定供給に向けた国有林の取組（徳島署）

また、植物学者・牧野富太郎博士の国有林における足跡を多くの人に知ってもらうために、博士が当時の高知営林局職員（四国森林管理局の前身組織）に対して行った植物採取の現地指導等をパンフレットにとりまとめ、公表しました。



※牧野富太郎が歩いた「国有林」

参考 主要事業量（県別）について

		徳島県	香川県	愛媛県	高知県	計
伐採量 (収穫量)	主伐	36千㎡ (26千㎡)	22千㎡ (21千㎡)	86千㎡ (58千㎡)	495千㎡ (506千㎡)	638千㎡ (610千㎡)
	間伐	13千㎡ (14千㎡)	5千㎡ (12千㎡)	72千㎡ (82千㎡)	228千㎡ (220千㎡)	318千㎡ (328千㎡)
木材供給量	製品 (丸太)	6千㎡ (9千㎡)	4千㎡ (5千㎡)	49千㎡ (47千㎡)	141千㎡ (130千㎡)	200千㎡ (190千㎡)
	立木	18千㎡ (17千㎡)	7千㎡ (6千㎡)	30千㎡ (29千㎡)	176千㎡ (167千㎡)	231千㎡ (220千㎡)
森林整備	植栽 (地植え含む)	0ha (0ha)	17ha (22ha)	35ha (37ha)	197ha (180ha)	249ha (239ha)
	下刈り	5ha (7ha)	39ha (37ha)	46ha (89ha)	551ha (520ha)	641ha (653ha)
	間伐	90ha (83ha)	33ha (73ha)	579ha (566ha)	1,508ha (1,377ha)	2,210ha (2,099ha)
林道整備	新設	65m (380m)	280m (420m)	0m (100m)	1,259m (1,409m)	1,604m (2,309m)
治山事業	国有林野内 直轄治山	6箇所 (7箇所)	3箇所 (2箇所)	3箇所 (7箇所)	23箇所 (31箇所)	35箇所 (47箇所)
	民有林野内 直轄治山	7箇所 (13箇所)	-	-	19箇所 (17箇所)	26箇所 (30箇所)
	計	13箇所 (20箇所)	3箇所 (2箇所)	3箇所 (7箇所)	42箇所 (48箇所)	61箇所 (77箇所)

注1) 事業量は、令和5年度当初予定の事業量で、令和4年度からの繰越事業量を含む。
()内は令和4年度当初予定の事業量で、令和3年度からの繰越事業量を含む。

注2) 各事業量は四捨五入により計が一致しない場合がある。

なお、令和5年度四国森林管理局の主な事業量は別表のとおりです。



四国森林管理局
重点取組事項





着任あいさつ

森林整備部長 宮沢 一正



4月1日付で四国森林管理局森林整備部長を拝命した宮沢一正です。前職は東北森林管理局盛岡森林管理署長でした。四国での勤務は初めてで、見ることも聞くことも初めてのことがあり。既に目が回っているような状況です。

近年は、右肩上がりだった時代も遠くなり、諸々余裕のなさからか、生真面目さからなのか、変革を強いられている時期だからか、ただですら業務運営上の課題が山積する中で、あれやこれやと新たな仕組みへの対

応、依頼事項なども多くなっている
と認識しています。皆さんお疲れで
しょうがそれでも歯を食いしばって
日々頑張られているそんな状況かと
思います。

そんな状況なので、なおさら以下
の点に日々気を付けながら、余計な
トラブルを少しでも減らしつつ、一
緒に業務に取組めればと思います。

1 安全・健康への注意

当たり前のことではありますが、
交通事故や現場での災害の防止など
安全の確保や健康に気を配ることに
ついては、本人の意思、心がけによ
り実践可能なことと思いますし、日々
の実践により確実により良い結果に
繋がりますので、お互いに油断のな
いよう過ごしましょう。

2 網紀の保持

この点も、自らの油断により余計
な労苦が増えたり、組織的にも大変
な損失、余計な仕事の発生に繋がる
ものです。役所勤めの者の犯罪行為
も以前にもまして目に付く今日この
頃、また、社会環境が厳しさを増す
中で、我々の業務上においても不当
な利益を得ようと外部からいらぬ誘
惑を受ける機会が出てくるかもしれ

ません。お互いに気を引き締めて一
層の網紀の保持に努めましょう。

3 報告・連絡・相談(ほうれんそう)の実践

言い古された言葉ではありますが、
目まぐるしく物事が動き、これまで
なかったような新たな事柄、事態も
多い今日この頃です。話の行き違い
や思い込みをなくし、仕事上の無駄
や手戻りを排除し、より効率的に業
務をこなせるよう、報連相(ほうれ
んそう)に一層心がけなくてはなら
ないと思います。忙しい中だとこの
点手薄になりがちですが、そんな時
だからこそ、お互いに意識して丁寧
な対応に努めましょう。

お堅いコメントになりましたが、
特に以上の点に努めながら、更に、
民国合わせ現場の状況も良く見聞き
しながら、より円滑、効率的な業務
運営となるよう努めてまいります。
普段から気軽にお声がけください。
また、現場の状況を見聞きしにでき
るだけ各地に赴きたいと思ってお
りますのでその際はご協力よろしくお
願います。改めまして公私にわた
りよろしく申し上げます。

春の「緑の募金」 街頭募金活動

～先人の想いを次世代へ受け継ぐ～
〈局技術普及課〉

4月16日、初夏を思わせる陽気のもと、公益社団法人高知県森と緑の会主催による春の「緑の募金」街頭募金活動が、高知市帯屋町商店街一帯で行われました。

高知城丸ノ内緑地での出発式で、来賓の皆様を代表し、遠藤順也四国森林管理局長が祝辞を述べた後、ひろめ市場前と中央公園付近の募金会場に分かれ、高知県子ども会連合会やボランティアの皆さんと一緒に募金活動を行い、遠藤局長も「緑の募金」のぼりを手にとり、協力を呼びかけました。

今年は新型コロナウイルス感染症も落ち着きを見せる中、街頭の多くの皆様から、心のこもった募金をいただきました。

皆様にご協力いただいた募金が、高知県内に限らず、日本国内、更には世界の森林整備や緑化推進の一助になることを期待いたします。



「社会貢献の森」における 協定を締結

〈安芸森林管理署〉

3月28日、電源開発株式会社（J-POWER）と安芸森林管理署は、「協定締結による国民参加の森づくり実施要領」に基づき、「社会貢献の森」における森林整備等活動に関する協定を安芸森林管理署で締結しました。

今回の「社会貢献の森」は企業の社会的責任（CSR）活動を目的とした森林整備として、5年間で100haの保育間伐の事業発注や地元参加者を募って間伐・植樹体験を行うなどの内容となっています。

J-POWERは、水力発電に係わる奈半利川流域と安田川流域の森林の持つ水土保持機能及びCO2の吸収固定機能の向上を図るため、発電所の上流にある国有林で森林整備を実施することで地域に貢献したいとの要望を有していたことから、今回の協定締結の運びとなりました。

締結式には、J-POWERから吉本保雅・高松事務所長外2名が出席し、当署の石原署長と調印しました。

締結後にJ-POWERからは今後5年間の活動計画書が提出され、今年度の活動が動き始めました。

これらの活動には、当署からも積極的なサポートを行うよう取り組んで参ります。



調印の様子



調印を終えて

右：吉本高松事務所長
左：石原署長

（協定書の詳細については安芸森林管理署のHPに掲載しております。）
https://www.rinyamaff.go.jp/shikoku/apply/pub/filesafe/aki/1230328_syakakouken.html

「滑床溪谷」山開き神事に併せて 森林環境教育を実施

〔四万十川森林ふれあい推進センター〕

4月27日、鮮やかな新緑の中、宇和島市と松野町にまたがる愛媛森林管理署管内滑床山国有林内の国立公園「滑床溪谷」で、松野町などが主催する山開き神事があり、両市町の関係者や地元住民ら約60人が大型連休を前に入山者の安全と観光振興を祈願しました。

町内2小学校の4年生児童で構成される森の国緑の少年団の16名も参加し、滑床発展の願いを込めてアマゴ稚魚を黒川へ放流しました。

神事後には松野町から依頼を受けて、恒例の森林環境教育を「森の国緑の少年団」を対象に実施していますが、今年には松野西小学校と松野東小学校の要請で、雪輪の滝までの登山を実施することになりました。

はじめに、万年荘内で、雪輪の滝までの登山ルートと下山ルートの説明や自然休養林でもある滑床溪谷の見所や水はぐくむ森林の大切さ、登山をする際の注意点について説明

しました。

万年荘周辺で昼食をとった後は、万年橋（標高340㍎）から、雪輪の滝（標高530㍎）を目指して往復約3キ、高低差190㍎の登山を行いました。

晴天に恵まれたこともあり、児童達は滑床の自然に触れ、溪谷の多様な変化にとても感動した様子で、「メッチャ楽しい」、「4年生で総合の学習がこれから1年間できるのでとっても楽しみや」と連発していました。

そして、往路の見所の1つ、出合滑では、花崗岩の巨大な一枚岩の滑に手で触れて、滑らかな岩肌を体感しました。

また、遊歩道沿いの樹木を学習し、鳥のさえずりを聞きながら、1時間10分程歩くと雪輪の滝に到着しました。

雪輪の滝は、大きな一枚岩の上をまるで雪の輪のような波紋を残しながら落下する様がこの滝の由来にもなっていて、「日本の滝百選」にも選ばれており、児童達は、雄大な滑床の自然を満喫していました。

その後、復路は、ネイチャーゲームのフィールドビンゴ（五感を使っ

て自然のたからものを探すゲーム）を行い、鹿の角や、エヌラルドグリーン色の枯れ枝などの珍しい物を発見し、「ヤッター、宝物にする」と喜んでいました。また、春の柔らかな日差しの中、木漏れ日キャッチ、自然観察をしながら、国有林林道を1時間程で無事下山しました。



雪輪の滝を望む



滑床山開き神事で拝礼する今村所長



木漏れ日キャッチと樹木学習の様子



フィールドビンゴをしながら下山中の様子

新規採用者の紹介

- ① 出身地
- ② 趣味・特技
- ③ 社会人になっての抱負



森林整備課
猪野 このみ

- ① 高知県安芸市
- ② 読書、散歩
- ③ 社会人1年目で、林業に関する知識も全くなく、勉強することからのスタートですが、自分にできる精一杯で頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



徳島署
藪島 敏弘

- ① 大阪府枚方市
- ② 釣り、キャンプ、ゲーム、動画視聴
- ③ 元々大学では、生物、化学の分野を学んでおり、林学についてはあまり知識がない状態なのでまずは林学のこと、現場のことも覚えつつ、少しでも早くお役に立てるようにいつかは自身の得意な分野や学んできたことを活用し、仕事へと還元していけるように頑張っています。



愛媛署
日野 壮一郎

- ① 愛媛県伊予市
- ② サウナ、ドライブ、スポーツ
- ③ 林業の知識はないので、しっかりと勉強したいです。



愛媛署
河野 橘平

- ① 香川県高松市
- ② 音楽ライブ、夏フェス参加、サッカー
- ③ 色々な場所で仕事を行い、様々な分野に関して知識を蓄えたいです。そして物事を多面的に考えて行動できるようになりたいと考えています。



四万十署
多賀 翔映

- ① 高知県四万十町
- ② 筋トレ、カラオケ、ドライブ
- ③ 入ったばかりで分からないことが多いので、少しずつ覚えていき、1人前になります。お金を大切に使いしていきたいです。



四万十署
山内 爽平

- ① 広島県福山市
- ② 音楽鑑賞、野球観戦
- ③ 大学では森林、林業に関して学んできましたが、治山に関しては初心者であるため、必死に勉強して業務をこなせるようになりたいです。日々精進いたしますので、よろしくお願いいたします。



嶺北署
池森 加奈恵

- ① 徳島県鳴門市
- ② 旅行、音楽鑑賞、食べること、お菓子作り、おいしいお店を探すこと
- ③ 社会人であることの自覚をもち、責任のある行動で、1つ1つの仕事を一生懸命がんばります。



高知中部署
小原 英明

- ① 高知県高知市
- ② 散歩
- ③ 治山についての知識があまりないですが、少しでも早くに仕事に慣れて頑張りたいと思います。



安芸署
小林 風賀

- ① 岡山県赤磐市
- ② 釣り、逆立ち
- ③ 大学では、サングの研究をしていたため、林業に関する知識が全くなく右も左もわかりませんが精一杯頑張ります。



安芸署
村上 烈士

- ① 京都府相楽郡精華町
- ② ランニング、スマブラ
- ③ 私は、小さい頃から自然に囲まれた環境で生活し、自然に触れあうことが好きだったので、林野庁でのこれからの仕事をとても楽しみにしています。ただ分からないことばかりなので、早く仕事に慣れるように日々精進していきたいと思っています。



総務課
前田 悠介

- ① 徳島県美馬郡つるぎ町
- ② 読書、スポーツ観戦、ドライブ
- ③ 国有林に従事する職員として1日でも早く貢献できる人材になりたいと思っています。ご指導のほどよろしくお願いいたします。



経理課
中越 薫

- ① 高知県高岡郡越知町
- ② 旅行、読書、動画編集
- ③ 社会人経験は長いですが、右も左も分らず社会人1年目の気持ちで日々過ごしています。少しでも早く仕事を覚えて経理課の一員として認めて頂けるように精進いたします。ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、よろしくお願いいたします。



保全課
井上 琢也

- ① 愛媛県大洲市
- ② キャンプ、釣り、サイクリング、薪ストーブ(薪活)
- ③ 選考採用で入庁しました。これまでは出身地の愛媛県大洲市の森林組合で森林施業プランナーとして活動していました。これまでの経験を活かしながら、また、新しいことを吸収し、林業人としても人間としても成長していきたいと思っています。ご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。



治山課
服部 佐和

- ① 高知県高知市
- ② 散歩、映画鑑賞
- ③ 社会人としての経験は長いですが、現職とは全く異なる業種からの転職ですので、新卒者の皆さんと同様に新たなスタートを迎え、社会人一年目を思い出しています。どんな職種に就こうが、どんな立場であろうが、積極的に学ぶ姿勢を持ち続けることは大切だと実感しています。これまでもそうしてきたつもりです。今後もその姿勢は崩さず、業務にあたるようにしたいです。